

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

... ..

成	續
---	---

1、今後研究しようとするテーマの思想史学上の研究意義について論じなさい(20行程度)。

1. 次の①～④について簡潔に説明せよ。(各3～4行程度)。

①古文辞学

②本居宣長著『古事記伝』

③西田幾多郎著『善の研究』

④日本浪漫派

三、次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

或曰ク、先生ニハ平素ヨリ^①「**百教一致**」ト云フ説ヲ御主張ナサルト承リマシタガ実ニ左様デゴザルカ
先生対テ曰、如何様左様デゴザル、敢テ主張ト申スデハゴザラヌガ、彼此ト考へ合セテ見候ヒツルニ、
如何ニモ一致ノ様ニ存ゼラル、故、朋友ト話ノ序ニサル事マデ論シタ事ガゴザルニ由テ、大方世間テノ
レヲ拙者ガ主張スルト申テゴザラウ

然ラバ御説ノ一致ト申スコトラ承ハリ度イモノデゴザル、僕ナドハイト浅見陋識ヲ候ヒツル故ニ皆区々
ノコトト思ハレ、如何ニモ一致トハ申シ難キカニ存ゼラルノデゴザル、今ノ世テ申サバ、御国ニテハ神
道ト云フ教ガゴザリ、漢土ニハ孔子ノ教、又老荘ノ教、其二変シタ所テハ道家ノ教ナドガゴザルト承
リ、又天竺ノ土教ニハ婆羅門ノ教ガゴザリテ、又釈迦ノ教ガ興リ、今ハ本土ハ婆羅門ガ再ビ行ハレ、釈
迦ハ反テ本土ニハ行ハレズ、西藏、韓契、漢土ヨリ反テ御国ナドニコソ行ハルレ、若シ教ガ一致ノモノ
デゴザルナラバ盛衰王隆替モナイ訳デハゴザラヌカ（中略）

今茲テ申ス教ハ専ラ人道ノ教ヲ指シテ申スノデ、侂祭祀ノ事ハ人道ノ内テ源ヲ発ス最大関係ノ一端トナ
シテ見ルデゴザル、先ツカヤウニ申シタ処テ教ノ字ノ意ガ多少極ツタ様デハゴザルガ、併シマダ十分ト
ハ申シ難ウゴザル、其故ハ教トイフ辞ヲ人ノ道ヲ教フルト見タ処テ、マダ人ノ道ノ内ニハ人ヲ治メルト
云フ事ガゴザルニ由テ、人ヲ治メル仕方ノ政トイフ字モ人ノ道ノ一ツノ様ニ思ハレルデゴザルガ、ソコ
ニ意味ノ取損ヒ易イ、得テ間違ノ生シ易イコトガゴザツテ、此考ノ混雜カラヒドイ誤リガ出来ルコトデ
ゴザル、ソレハ先ツ今ノ世テ能ク人ガ申ス^②「**政教一致**」ト申スコトガゴザルガ、此題目ハ至極宜イ立テ方
デゴザルケレトモ、少シ意味ヲ取違ヘルト^③「**政教一途**」ト見ル人ガ多イデゴザル、朱子ノ大学ノ序ニ堯舜
ナドノ聖人ガ天ニ継ギ、天道ヲ奉ジテ人間ノ大極柱ヲ立テラレタ時ニ億兆ノ民ノ君トモ師トモナツテ治
メテ、以テ教ヘシムトゴザルガソレハサルコトデ、大昔シノ世ニハ教ヘルコトモ、治メルコトモ大体一
ツデゴザツテ、就中漢土テハ今ノ世テモ又孔子ノ道テハ、何処デモ、誰デモ、同シコトニ考ヘテ居ルデ
ゴザルガ、茲ラ一ツ説ギ碎カナクテハナラヌデゴザル、抑々政教一致ト云フ題目ハ右ノ様ニ考ノ混雜シ
タ所ヲ破ルニイト適當ナ題目デゴザル、何故トナラバ政ト教トハ素ヨリニ途ナ物デゴザル、若シニ途ナ
ナケレバ一致ト云フ句尾ハイラヌコトデゴザル、故ニ政教ハ素夫々ノ別ナコトデニ途ニ出タルコトナレ
トモ、其帰スル所、趣ク所ノ目的ハ同シコトデゴザルト云フノデゴザル、何故トナラバ、政ラスルト教
ヲ施ストハ全然仕法ノ違フタコトデゴザルガ、帰スル所ノ目的ハ人ノ世ヲ宜イガ上ニモ宜クシテ斯民ヲ
シテ生ヲ養ヒ死ヲ喪シテ、一生涯安楽ニ暮サセテ死後ニモ憾ミノナイ様ニシテ遣ラント云フコトハ一致
デゴザル（後略）

(1) 『百一新論』は或る人と先生の間答で成り立っているが、或る人の①「政教一致」云々説に対する考えを簡潔にまとめて説明しなさい。(5行程度)

(2) 『百一新論』で先生が主張する②「政教一致」と③「政教一途」とはそれぞれどのような意味か、具体的な事例を挙げながら説明しなさい。(各5行程度)

・政教一致

・政教一途

以下の録音用紙は、下書き用に使うことができます。

